

補遺4

日本歯科医学会プロジェクト研究

「口腔疾患に対する禁煙の効果」多施設共同研究

平成28年7月25日

研究計画書

改定	現行
8. 禁煙介入基準：	8. 禁煙介入基準：
<p>ファーガストロームのニコチン依存度テスト (FTND) のスクリーニングでニコチン依存度が<u>3点以上 (依存度普通もしくは高い)</u>で、禁煙意志が強く、ただちに禁煙をしたいと思っている者を禁煙介入の対象とする。ニコチン依存度 (FTND) が<u>3点未満 (依存度低い)</u>で、禁煙意志が弱いか意志のない者は非禁煙介入とする。FTNDが<u>3点以上</u>でもすぐに禁煙しようと考えていないか禁煙意志のない喫煙者は、非禁煙介入群として研究に参加する (資料1研究フローチャート参照)。途中で禁煙意志が強くなった場合はその時点で禁煙介入を行う。FTNDが<u>3点未満</u>で、禁煙意志が強い喫煙者に対する禁煙治療は、研究対象外のため以下のニコチンパッチの無償提供はない (9. 禁煙介入・評価方法参照)。禁煙介入群の患者で喫煙を再開したが再度禁煙治療を希望した場合は、再度禁煙支援・治療を行っていく。</p>	<p>ファーガストロームのニコチン依存度テスト (FTND) のスクリーニングでニコチン依存度が7点以上で、禁煙意志が強く、ただちに禁煙をしたいと思っている者を禁煙介入の対象とする。ニコチン依存度 (FTND) が6点以下で禁煙意志が弱いか意志のない者は非禁煙介入とする。FTNDが7点以上でもすぐに喫煙しようと考えていないか禁煙意志のない喫煙者は、非禁煙介入群として研究に参加する (資料1研究フローチャート参照)。途中で禁煙意志が強くなった場合はその時点で禁煙介入を行う。FTNDが6点以下で、禁煙意志が強い喫煙者に対する禁煙治療は、研究対象外のため以下のニコチンパッチの無償提供はない (9. 禁煙介入・評価方法参照)。禁煙介入群の患者で喫煙を再開したが再度禁煙治療を希望した場合は、再度禁煙支援・治療を行っていく。</p>
9. 禁煙介入・評価方法：	9. 禁煙介入・評価方法：
<p>禁煙指導開始時に介入対象症例に対してファーガストロームのニコチン依存度テスト (FTND) でニコチン依存度のスクリーニングを行う。ニコチン依存度が<u>3点以上</u>を禁煙介入を行う群 (禁煙介入群)、<u>3点未満</u>を非禁煙介入を行わない群 (非禁煙介入群) とする。ニコチン依存度が<u>3点以上</u>で禁煙意志が強い (<u>1ヶ月以内に禁煙をしたいと思っている</u>) ことを確認したら禁煙日を決定して、その後担当歯科医師または担当歯科医師指導下の歯科衛生士による禁煙指導を開始する (添付資料1研究フローチャート、添付資料2研究スケジュール参照)。ニコチン依存度が低く (<u>3点未満</u>)、<u>1ヶ月以内に喫煙しようと考えていない</u>喫煙者には簡易な禁煙アドバイスを行う (短時間の禁煙アドバイス、p54~60、禁煙支援マニュアル第二版、厚生労働省)。</p>	<p>禁煙指導開始時に介入対象症例に対してファーガストロームのニコチン依存度テスト (FTND) でニコチン依存度のスクリーニングを行う。ニコチン依存度が7点以上を禁煙介入を行う群 (禁煙介入群)、6点以下を非禁煙介入を行わない群 (非禁煙介入群) とする。ニコチン依存度が7点以上で禁煙意志が強い (<u>ただちに禁煙をしたいと思っている</u>) ことを確認したら禁煙日を決定して、その後担当歯科医師または担当歯科医師指導下の歯科衛生士による禁煙指導を開始する (添付資料1研究フローチャート、添付資料2研究スケジュール参照)。ニコチン依存度が低く (<u>6点以下</u>)、<u>すぐに喫煙しようと考えていない</u>喫煙者には簡易な禁煙アドバイスを行う (短時間の禁煙アドバイス、p54~60、禁煙支援マニュアル第二版、厚生労働省)。</p>
添付資料 ニコチン代替剤一覧	添付資料 ニコチン代替剤一覧
<p>グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社 http://glaxosmithkline.co.jp/gsk-chj/products/ (旧製造販売元 ノバルティスファーマ http://www.nicotinell.jp/p_otc/)</p>	<p>ノバルティスファーマ http://www.nicotinell.jp/p_otc/</p>